

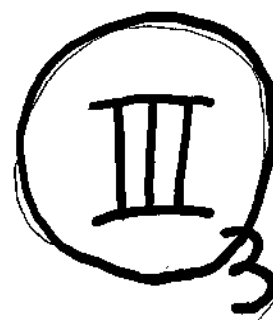
グループの旗

Cコース: グループ

グループのネーミング

A II K

シンボルマーク



2024 年 3 月 26 日

チーフアドバイザー

アドバイザー

前田義人

役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	安田	アイシン
2	サブリーダー	城岸	日本パリソン
3	発表者	木内	テソーエレクトロニクス
4	質問者	岩瀬	東海理化
5	書記 1	三村	TEMECA/
6	書記 2		
7	時間係・5 S	久保	ニッセイ
8			
9			

グループの決め事

No	内 容	評 価
1	みんなが積極的に発言する	○
2	みんなで時間を守る	○
3	意見が決まらなかつた課題 時間がかかると次の課題	○
4	人の意見を否定しない	○
5	明るく	○

★活動終了時に全員で評価を実施します

★評価は、○、△、×等で記入

※全ての資料は大きく濃い字で書きましょう！

2. 現状把握

《現状把握メモ》

	気になる現象(コマが上手く抜けた時と、コマが上手く抜けなかった時の違いを見てください)	
	コマが上手く抜けた時	コマが上手く抜けなかった時
人	【人では?】	
道具	【ハンマー、机、シートでは?】	
材料	【ダルマ、コマでは?】	
方法	【積み方、たたき方では?】	
測定		
環境	【実施する場所では?】	

Cコース: 3 グループ

リーダー研修会(初級)

計算表(改善前)

	回数	成功率
5段成功	6	33%
5段目失敗	3	
4段目失敗	2	
3段目失敗	1	
2段目失敗	1	
1段目失敗	5	
合計	18	

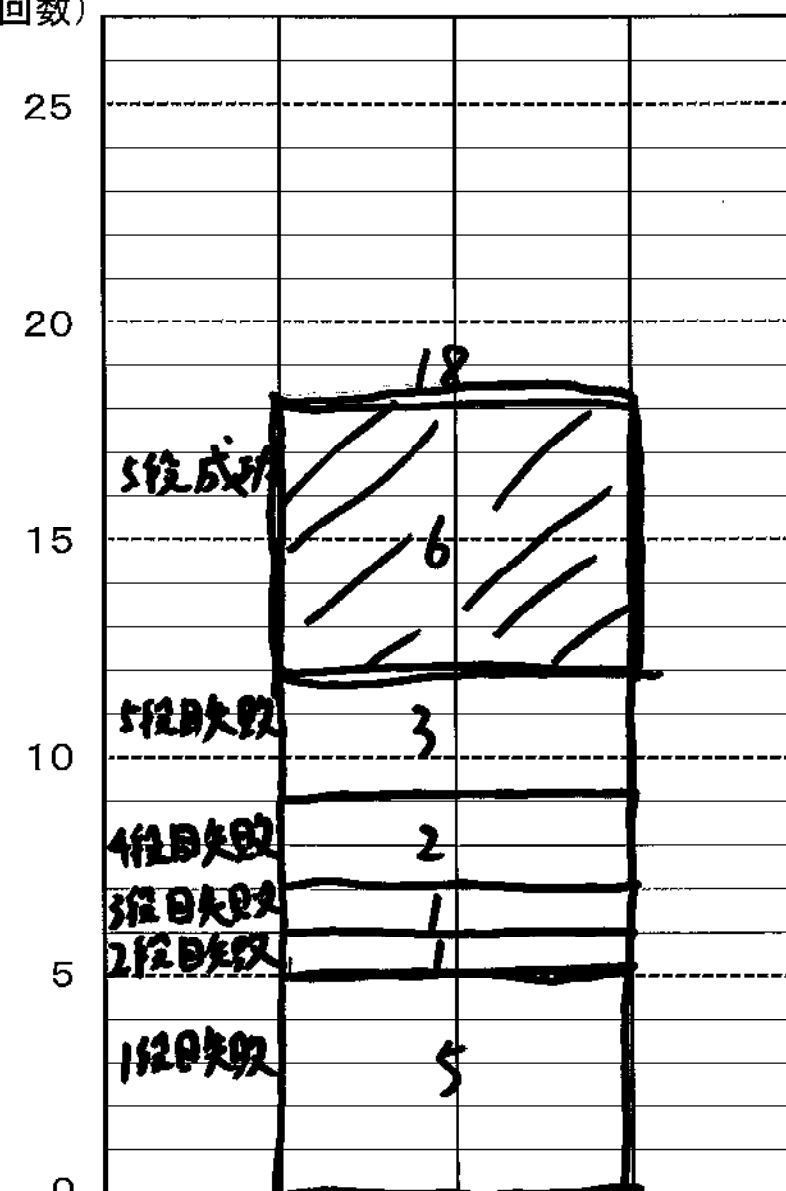
(改善前)

作成日: 年 月 日

作成者:

成功回数:

(回数)



改善前

3. 目標の設定・活動計画作成

Cコース: 3 グループ

具体的目標: なにを、いつまでに、いくらをいくつに

(※ 目標の設定根拠も記入するとよい)

なにを:

ダルマ落としの多段の
~~成功率~~ を

いつまでに: 失敗件数

研修時間 15:00

いくらをいくつに:

ゼロにする

要因の絞込みと検証

- ① 観察で確かめる(現地・現物で確かめて要因を絞り込む)
- ② データや事実に基づいて確かめる(必要な要因に絞ったデータ・事実確認)
- ③ 実験・試行して、悪さ加減を確かめる(悪さの再現と要因探し)

	主要因	検証結果	採否
人	叩く力加減が弱い	同じ人でも力を強くしたらコマが抜けた。	○
材	ダレマとハンマーのサイズが合っていない	検証不可	×
方	まったく目標がない	コマの赤印をぬらしたためにコマが抜けた	○
設	ハンマーが軽い	検証 軽いとコマが抜けきらない	○

5. 対策の検討・実施

Cコース: グループ

評価の目安

◎ (効果は大きい) 5点
○ (まずまずの効果) 3点
△ (効果は小さい) 1点

(具体的方策案)

基本目的

1次手段

2次手段

3次手段

ダルマ落としの一段目失敗を0回にする

力加減を強くする

道具を使う

勢いをつける

目標を叩く

コマの向きをそろえる

スロー位置を合わせる

早くする

材質を変更

道具を変更

人からゴムへ

道具を買ってくる

スロー幅を決める

振りぬく速さを決める

打前の手順を統一する

印を付ける

ハマーにおもりを足す

ペースを叩く

評価				評価点	優先順	採用
効果	実現性	コスト	納期			
◎	△	△	◎	12	4	
◎	△	△	△	8	5	
○	◎	◎	◎	18	1	○
○	◎	◎	◎	18	1	○
○	○	◎	○	14	3	
◎	◎	○	○	16	2	○
○	◎	○	◎	16	2	○
△	△	△	◎	8	5	

6. 効果の確認

計算表(改善前)

	回数	成功率
5段成功	6	33%
5段目失敗	3	
4段目失敗	2	
3段目失敗	1	
2段目失敗	1	
1段目失敗	5	
合計	18	

計算表(改善後)

	回数	成功率
5段成功	3	16.7%
5段目失敗	3	
4段目失敗	3	
3段目失敗	2	
2段目失敗	5	
1段目失敗	2	
合計	18	

(1) 結果

目標	結果
ダレエ落としの1段の失敗件数を 研修時間15:00までに ゼロにする	1段失敗件数2件

(改善前)

作成日: 年 月 日

作成者:

成功回数:

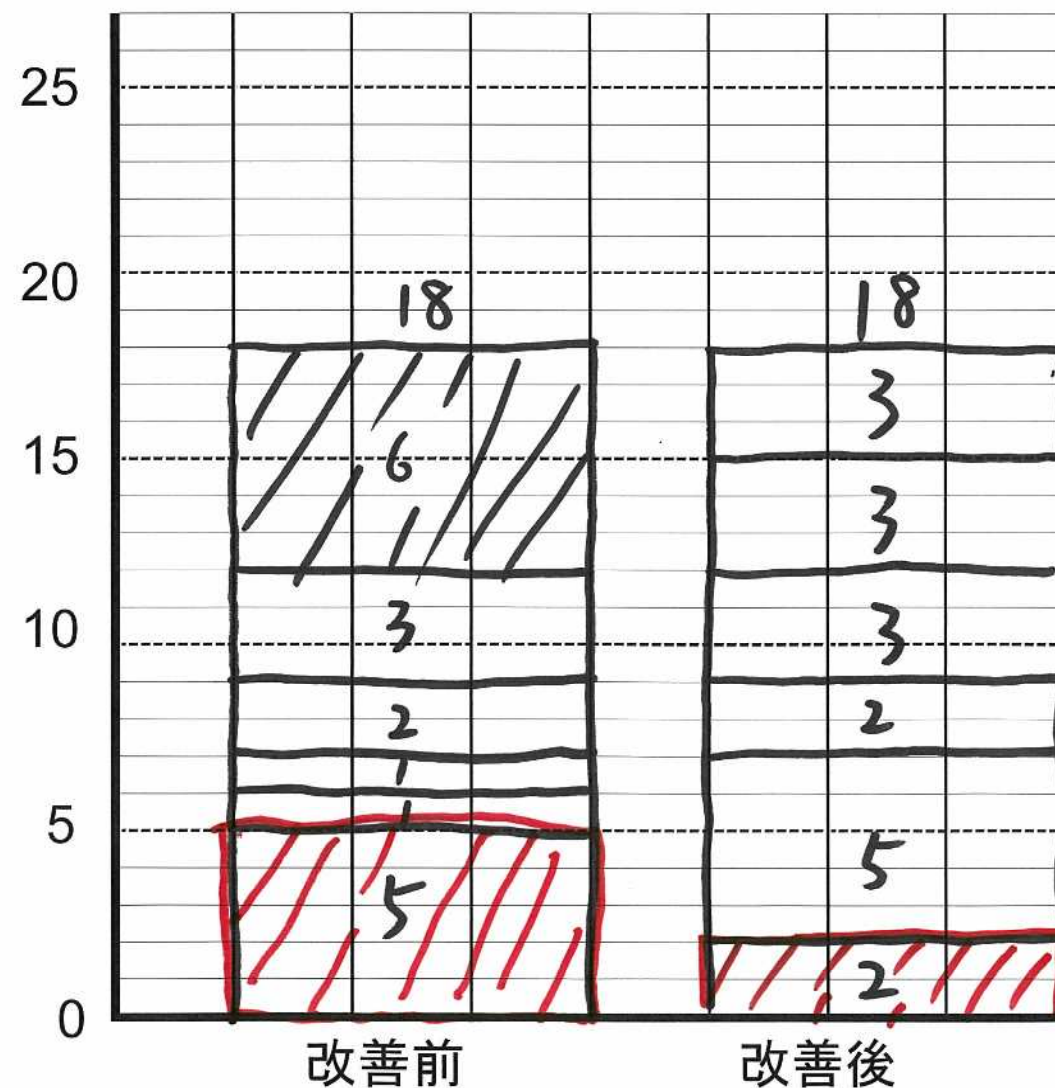
(改善後)

作成日: 年 月 日

作成者:

成功回数:

(回数)



(2) 良かった点

均一になった

ハンマーの位置決め
ポイントが効果がある

反省点

テープ(はさみ)
ハットスセードから
殺されている
テープを外す

練習が大事

加減はジャックとパイ
ヒット時には、振り抜いて
いないからハンマーを
振り抜くうまく振れた時
は、
ゆるめた方がいい

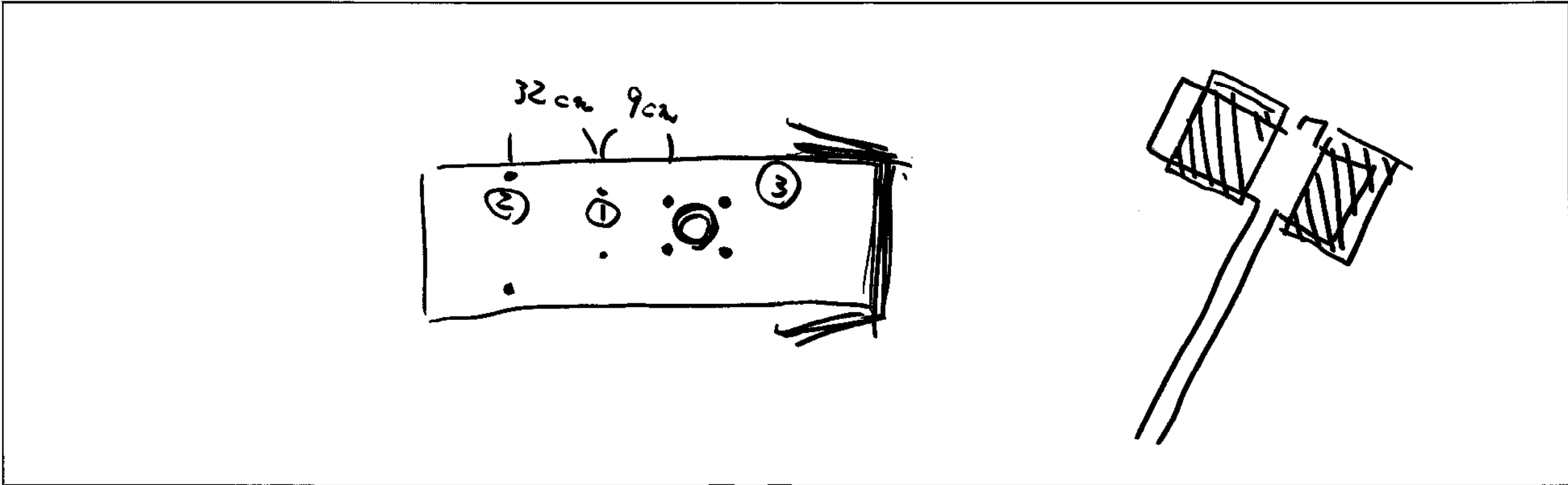
7. 標準化

Cコース: グループ

【標準化(ルール化)する】

なぜ	なにを	いつ	どこで	誰が	どのように
ハンマーの威力を増やすため	ハンマーのヘッド	使用前	現場	使用者	28分のテープを貼り重ねる。
力の加減を強くするため	練習をする	測定前	現場	使用者	決めたルール通りできるように。①~③へ
ハンマーの振り方を決めるため	ストロークに印を付ける	測定前	現場	使用者	印に沿って打つ

図で説明する



8. 反省と今後の進め方(今後の活動の糧にする)

Cコース: グループ

※ダルマ落としの感想でなく、研修会に参加しての感想

☆ よかった点

良.

リーダーとしての進め方、
QC手法の使い方を学べた。
QC活動をやっているが、あんなに
知識で活動していたのび学ぶ
機会がなくて良かった。 ヤスダ

良かった点

リーダーがメンバーに対する
話のまわし方と、
メンバーがリーダーに対して
意見の出し方が学べた。 城岸

良かった点

QCの流れや進め方を
学ぶ事ができた。

良かった点

初めて会った人達と1つの事が
対してQC手法を用いて改善する
事ができた。

全体的なQC活動の流れが
体験できた。

よかった点

グループの意見をもめることなく
決めることができた

リーダーとしての役割を十分
理解できた。自職場でも
活用していきたいと思いました。

城岸

☆ 反省点

反.

グループ内でのコミュニケーション
が足りなかった。

ヤスダ

反省点

積極的なコミュニケーション
がとれなかった。

悪かった点

自発的に発言する発言が
少なかった。

改善案があり、思いつか
なかった。

城岸

反省点

自分の中で意見が出ても
間違っていると思い、言えない場面
ある。今後の活動は間違っている
発言していきなり、 城岸

反省点

具体的な数値を使った
改善ができなかった。
つめが甘く、満足いく
改善にはなっていなかった。